

③ ちびモリ図鑑

トンボ

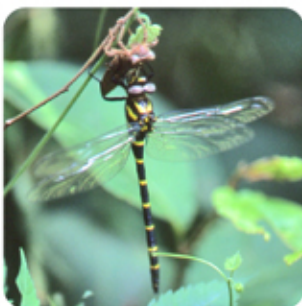
シオカラトンボ、オニヤンマ、モノサシトンボが好きな場所はどこかな。線でむすんでみよう。

シオカラトンボ



日本で一番
大きなトンボ。
なが流れがあって、
きれいな水辺が好き。

オニヤンマ



流れのない明るい
水辺が好き。
でも、街なかも
けっこう好き。

モノサシトンボ



おおがた大型の
イトトンボ。
ちょっと暗い
池や沼が好き。

④ ちびモリ図鑑

きのこ

タチツボスミレなどの植物には、
写真のように花・茎・葉があって、土の中には根があるよね。
では、きのこの「花」にあたる部分はどこかな。
○(マル)でかこんでみよう。



ササクレヒトヨタケ
(きのこ)



花

茎

葉

タチツボスミレ

① こたえ

※おとなのひとといっしょによんでね!

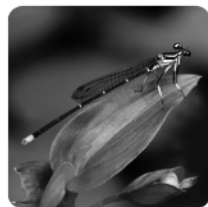
シオカラトンボ



オニヤンマ



モノサシトンボ



トンボの名前の由来

「田んぼ」→トンボ
「飛ぶ棒」→トンボ

日本で一番大きなトンボ。流れがあって、きれいな水辺が好き。

流れのない明るい水辺が好き。でも、街なかもけっこう好き。

大型のイトトンボ。ちょっと暗い池や沼が好き。

「トンボの好きな場所」

トンボは種類によって、好きな水辺があることがわかったかな。河川や小川のように流れのある水辺、池や沼のような流れのない水辺。郊外では、溪流や水田や湖も水辺だね。都会では、公園の噴水や学校プールや水たまりも貴重な水辺になっているんだ。日本は気候が多様で、いろいろな水辺があることがトンボの種類が多い理由でもあるんだよ。

それから、水辺にトンボがやって来るのは、トンボの幼虫やゴは水中で生活し、成虫のメスは水辺に卵を産むことが多いから。オスもパートナーのメスを探しに、水辺にやってくるんだ。面白いのは、オスは、卵を産みにやってくるメスを探すため「なわばり」をもっていること。よく観察してみると、ある一定の場所をぐるぐる旋回しているから、今度じっくり観察してみてね。なわばり争いで、ケンカをしているオスもいるよ。

② こたえ

※おとなのひとといっしょによんでね!

地上に出ている部分すべて



ササクレヒトヨタケ (きのこ)

「きのこのふしぎ」

スーパーで売っている「きのこ」。公園を歩いていると、切り株や木のベンチから、ひょっこり顔を出す「きのこ」。実は、これは菌類といって、カビと同じ仲間なんだ。

カビやきのこの体は、目に見えない「菌糸」でできていて、普段は土の中などでひっそりとくらしている。植物が、自分の子孫を残すために花を咲かせ種をつけるように、きのこも「孢子」というものをつくって、私たちの目に見える形で地上にあらわれるんだ。それがつまり、植物の「花」にあたる部分なんだね。

それから、きのこは、植物のように太陽を浴びたり、人間のように他の生きものを食べることで、栄養を取ることにはできない。そこで、落ち葉や倒れた木など、他の動植物がつくった養分を利用して生活するんだ。中には、死んだ動物や他の生きものの栄養を吸い取ってしまうきのこもあるんだよ。



オサムシタケ (きのこ)

「オサムシタケ」といって、オサムシから栄養をもらうきのこ。セミ、バッタ、カメムシから生えるきのこもある。